

事務事業名	部活動指導員配置事業	担当	教育委員会 学校教育課 指導係	
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	2	心の教育と健やかな体づくり
成果指標	名称	単位	4 年度実績	
	部活動指導員勤務日の対象職員一人あたり業務時間40%以上軽減達成率	%	23.1	
事業概要	「真岡市部活動の在り方に関する方針」を受けて、令和元年度から部活動指導員を配置し、部活動の一層の充実・活性化と教職員の「働き方改革」の実現を目指す。市内3校に3人の部活動指導員を配置した。令和4年度からはさらに3校に3名を配置して事業を拡充し、部活動の指導の充実と教員の部活動指導の負担軽減を図る。 平成30年度に文部科学省が立ち上げた事業で教育支援体制整備事業補助金で、部活動指導員に対する経費の1/3ずつ国と県が負担し、残りを市が負担する。			
4 年度 実績・成果・課題	部活動指導員が勤務した日に、顧問一人当たりの部活動指導時間が40%以上は軽減できた割合は、23.1%（対象顧問13名のうち3名）であった。部活動指導員が配置されたことで顧問は技術指導への心理的負担は軽減には繋がっているものの、指導時間の減少には至っていない。配置校、対象顧問に部活動指導員配置事業の目的をさらに助言していく。			
今後の方向性と 具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 中学校部活動の在り方については、教職員の働き方への意識改革と共に、生徒にとっての利益に繋がる地域部活動への移行という課題もある。それぞれの目的が達成でき、さらに生徒の健全育成を目指した取組を検討する。			